

# 手術部

## 1 構 成 員

	平成 28 年 3 月 31 日現在	
教授	1 人	
病院教授	0 人	
准教授	1 人	
病院准教授	0 人	
講師（うち病院籍）	0 人	(0 人)
病院講師	0 人	
助教（うち病院籍）	2 人	(2 人)
診療助教	0 人	
特任教員（特任教授、特任准教授、特任助教を含む）	0 人	
医員	0 人	
研修医	0 人	
特任研究員	0 人	
大学院学生（うち他講座から）	0 人	(0 人)
研究生	0 人	
外国人客員研究員	0 人	
技術職員（教務職員を含む）	4 人	
その他（技術補佐員等）	2 人	
合計	10 人	

## 2 教員の異動状況

中島芳樹（教授） H 27.5.1～現職

栗田忠代士（准教授） H10.4.1～H19.3.31 助手；H19.4.1～H21.1.31 助教；  
H21.2.1～H24.2.29 講師；H24.3.1～ 現職

森田耕司（助教） S53.4.16～H19.3.31 助手；H19.4.1～現職

木村哲郎（助教） H23.5.5～現職

## 3 研究業績

数字は小数 2 位まで。

	平成 27 年度	
(1) 原著論文数（うち邦文のもの）	4 編	(1 編)
そのインパクトファクターの合計	7.78	
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	0 編	
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(3) 総説数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	
(4) 著書数（うち邦文のもの）	0 編	(0 編)
(5) 症例報告数（うち邦文のもの）	1 編	(1 編)
そのインパクトファクターの合計	0.00	

## (1) 原著論文

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. Kurita T\*, Morita K, Sato S : The Influence of Hypovolemia and Fluid Resuscitation During Hemorrhagic Shock on Apneic Oxygen Desaturation After Preoxygenation in a Swine Model. *Anesth Analg* 121:1555-61, 2015. [3.472]
2. Kurita T\*, Morita K, Sato S : Impact of a  $\beta$ -blocker and/or acute hemodilution on cerebral oxygenation during apneic hypoxia. *Acta Anaesth Scand* 60:343-53, 2016. [2.322]
3. Kurita T, Morita K, Sato S : Evaluation of near infrared spectroscopy for detecting the  $\beta$  blocker-induced decrease in cerebral oxygenation during hemodilution in a swine model. *Journal of Clinical Monitoring and Computing*, 29, 779-788, 2015. [1.985]
4. 木村哲朗, 加藤孝澄, 小笠原 孝, 御室総一郎, 牧野 洋, 鈴木 明, 佐藤重仁 : 経食道心エコープローブ挿入における McGRSTH<sup>®</sup>MAC の有効性の検討 *麻酔*, 65, 67-74, 2016.

インパクトファクターの小計 [7.779]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの

## (5) 症例報告

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

1. 木村哲朗, 佐野秀樹, 鈴木興太, 中島芳樹 : 持続尺骨神経ブロックで周術期管理した手指壊死痛の1症例 *日本ペインクリニック学会誌*, 23, 21-24, 2016.

インパクトファクターの小計 [ 0 ]

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの (学内の共同研究)

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの

## 4 特許等の出願状況

	平成 27 年度
特許取得数 (出願中含む)	0 件

## 5 医学研究費取得状況

(万円未満四捨五入)

	平成 27 年度
(1) 科学研究費助成事業 (文部科学省、日本学術振興会)	2 件 (260 万円)
(2) 厚生労働科学研究費	0 件 (0 万円)

(3) 日本医療研究開発機構 (AMED) による研究助成	0 件	(0 万円)
(4) 科学技術振興機構(JST) による研究助成	0 件	(0 万円)
(5) 他政府機関による研究助成	0 件	(0 万円)
(6) 財団助成金	0 件	(0 万円)
(7) 受託研究または共同研究	0 件	(0 万円)
(8) 奨学寄附金	0 件	(0 万円)

(1) 科学研究費助成事業 (文部科学省、日本学術振興会)

1. 基礎研究(C) (栗田忠代士) 「短時間作用性  $\beta$  遮断薬の脳の酸素化への影」  
平成26年度～平成29年度 平成27年度110万円
2. 若手研究 (B) (木村哲朗) 「線溶系の制御による脳動脈瘤発生および破裂予防法の検討」  
平成27年度～平成29年度 平成27年度150万円

## 6 新学術研究などの大型プロジェクトの代表, 総括

## 7 学会活動

	国際学会	国内学会
(1) 特別講演・招待講演回数	0 件	0 件
(2) シンポジウム発表数	0 件	0 件
(3) 学会座長回数	0 件	3 件
(4) 学会開催回数	0 件	0 件
(5) 学会役員等回数	0 件	2 件
(6) 一般演題発表数	0 件	

(1) 国際学会等開催・参加

(2) 国内学会の開催・参加

- 1) 主催した学会名
- 2) 学会における特別講演・招待講演
- 3) シンポジウム発表
- 4) 座長をした学会名
  - ・日本麻酔科学会第 62 回学術集会
  - ・日本麻酔科学会東海北陸支部第 13 回学術集会
  - ・第 37 回日本手術医学会総会

(3) 役職についている国際・国内学会名とその役割

日本麻酔科学会 日本麻酔科学会学術集会実行委員会 第 7 麻酔関連 WG サテライトメンバー

## 8 学術雑誌の編集への貢献

	国内	外国
学術雑誌編集数 (レフリー数は除く)	0 件	0 件

## 9 共同研究の実施状況

	平成 27 年度
(1) 国際共同研究	0 件
(2) 国内共同研究	0 件
(3) 学内共同研究	0 件

## 10 産学共同研究

	平成 27 年度
産学共同研究	0 件

## 11 受 賞

- (1) 国際的な授賞
- (2) 外国からの授与
- (3) 国内での授賞

・木村哲朗, 第 11 回日本医学シミュレーション学会 最優秀演題賞, 平成 28 年 1 月

## 12 研究プロジェクト及びこの期間中の研究成果概要

## 13 この期間中の特筆すべき業績, 新技術の開発

## 14 研究の独創性, 国際性, 継続性, 応用性

## 15 新聞, 雑誌等による報道